



Yamato City

大和市民の幸福度に関する 意識調査

レクチャー資料

令和6年8月1日（木） 13:30～

説明の流れ

- 調査概要
- 集計結果・考察
- 総括

調査概要

・目的

市民の幸福度や幸福の捉え方についてお伺いし、全ての人が楽しく、笑顔あふれ、社会的にも幸せな状態、いわゆる“ウェルビーイング”が実感できる住みよい大和市を目指していく取組に活用するため、「大和市民の幸福度に関する意識調査」を実施。

調査概要

- **調査期間／対象者等**
 - 令和6年1月12日～令和6年1月26日
 - 満16歳以上の市民5,000人
 - 有効回答通数1,842（回収率＝36.8％）

調査概要

・設問

- Q 1 現在、あなたはどのくらい幸せを感じていますか。
- Q 2 Q 1 と比べて、おおよそ 1 年前のあなたはどのくらい幸せを感じていましたか。
- Q 3 **考え得る最良の人生と最悪の人生があるとして、あなたの人生は現在どの位置にありますか。**
- Q 4 あなたの「人生最良の状態」はどのような状態ですか。
- Q 5 あなたの幸せにとって重要なものはなんですか。
- Q 6 あなたの身近に心を許せる人はいますか。
- Q 7 あなたがふだんの暮らしの中で幸せを感じる・瞬間として、どのようなものがありますか。
- Q 8 あなたが幸せになるために妨げとなっているものはなんですか。
- Q 9 5 年後・10 年後に、あなたが幸せでいるために必要だと思うものはなんですか。
- Q 10 あなたが幸せを感じる居場所や大和市内のスポットはありますか。
- Q 11 あなたが市役所の職員だとしたら、市民を幸せにするためにどんなことをしますか。
- Q 12 5 年後・10 年後の大和市は、どのようなまちになっていてほしいですか。

調査概要

・属性に関する質問

- | | | | |
|-----|-------------------|------|--------------------------|
| F 1 | 性別 | F 9 | 1年間の世帯全体の収入 |
| F 2 | 年齢 | F 10 | 就労形態（職業） |
| F 3 | 住んでいる場所から一番近い市内の駅 | F 11 | 趣味 |
| F 4 | 市内での居住年数 | F 12 | 現在の健康状態 |
| F 5 | 配偶者の有無 | F 13 | 1日あたりの睡眠時間 |
| F 6 | 家族構成（同居） | F 14 | プライベート時間におけるインターネットの使用頻度 |
| F 7 | 18歳未満のこどもの有無 | F 15 | SNSの使用目的 |
| F 8 | 住居の形態 | F 16 | 使用しているSNS |

集計結果／考察

- ・はじめに
- ・幸福度のはかり方・・・

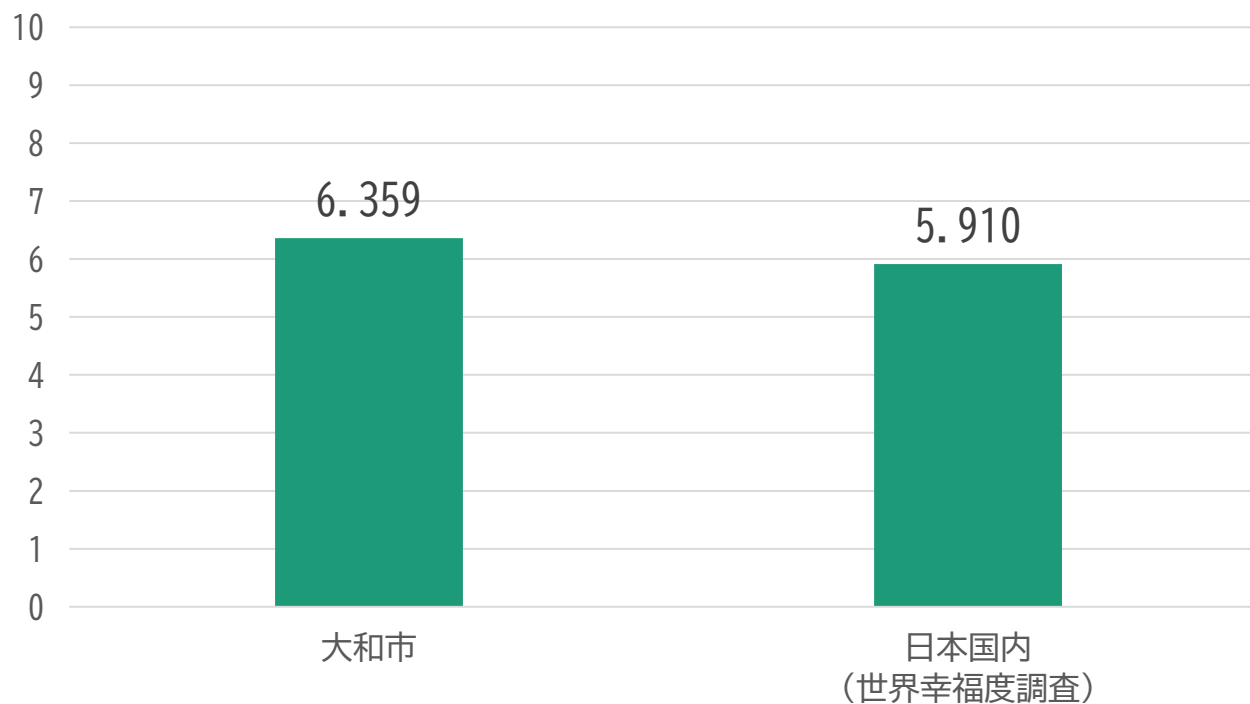
0～10 の 11 段階で自身の人生を評価
＝カントリルの梯子（Cantril Ladder）

考え得る最良の人生と
最悪の人生があるとして、
あなたの人生は現在、
どの位置にありますか？



集計結果／考察

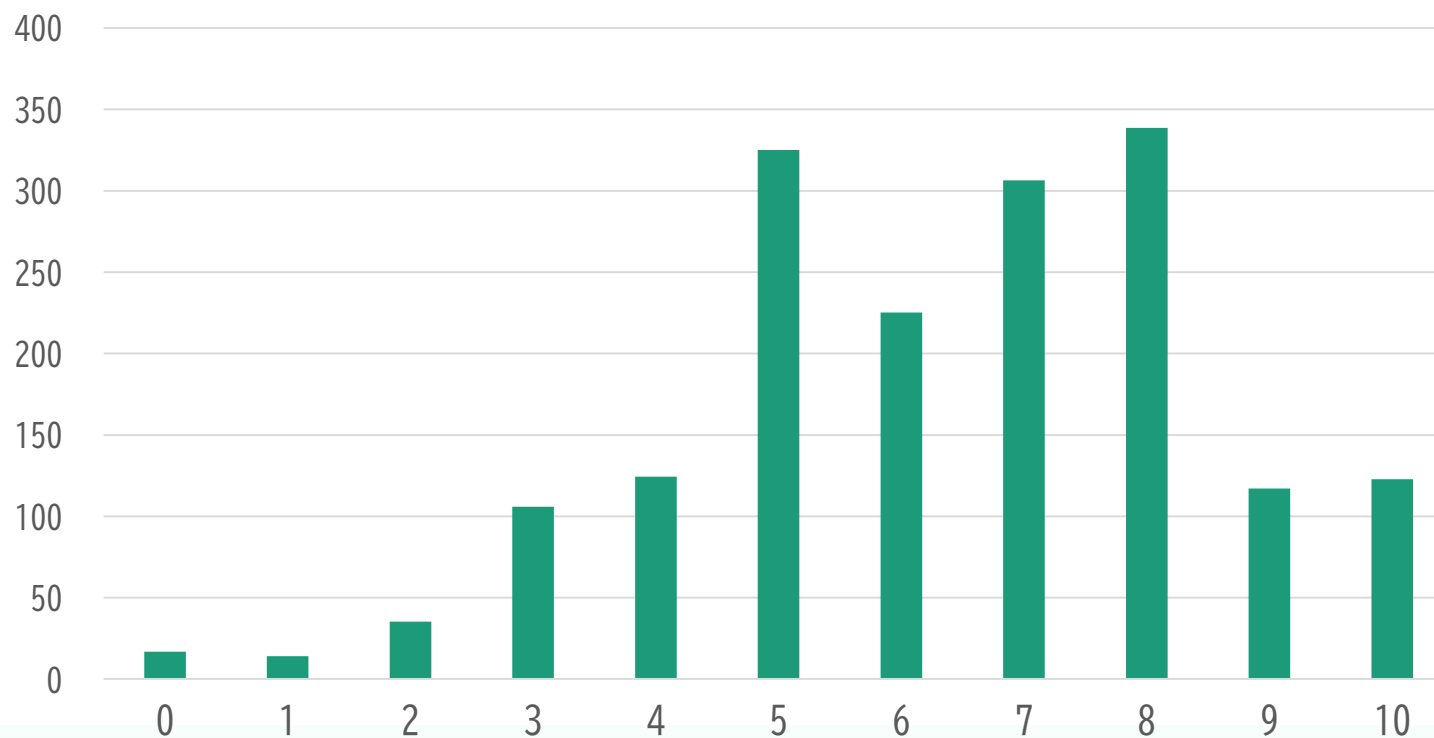
・幸福度（Life Ladder）の平均値



※データ出所：World Happiness Report「World Happiness Report 2024」

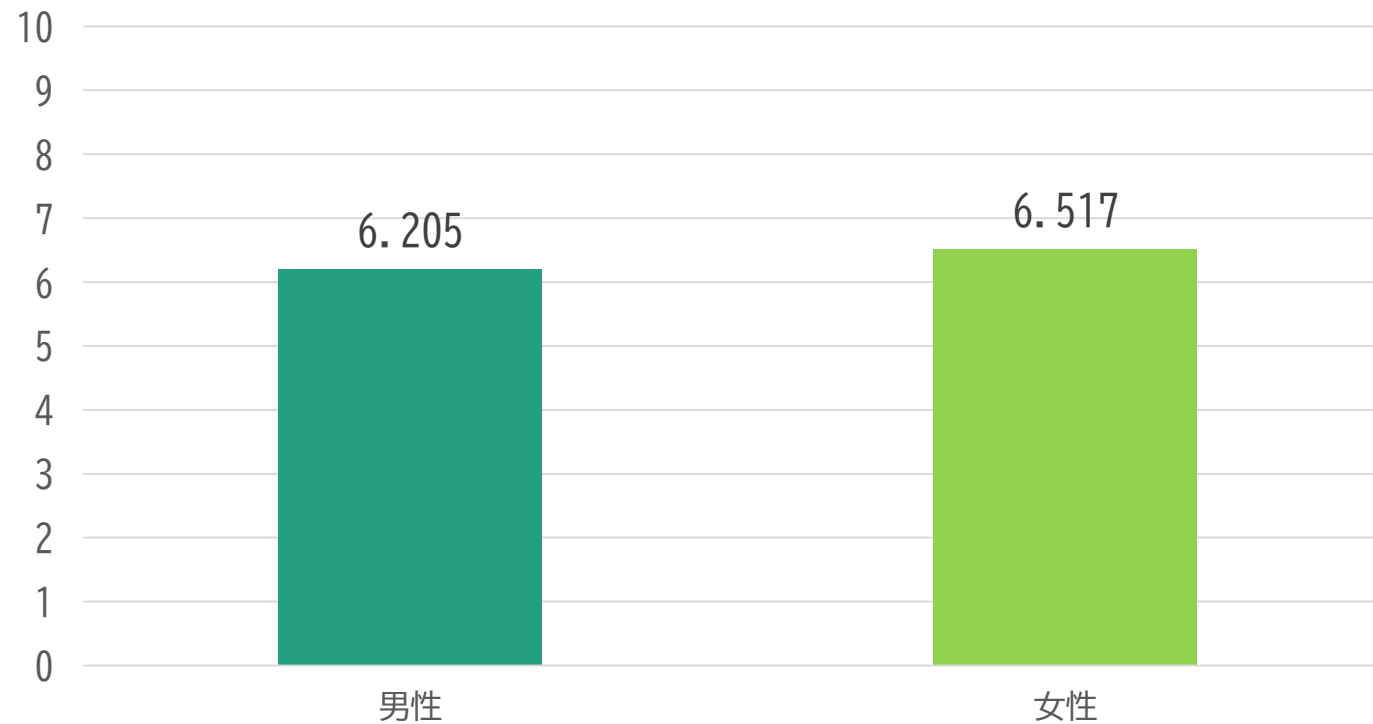
集計結果／考察

・幸福度（Life Ladder）で選択された11段階の分布



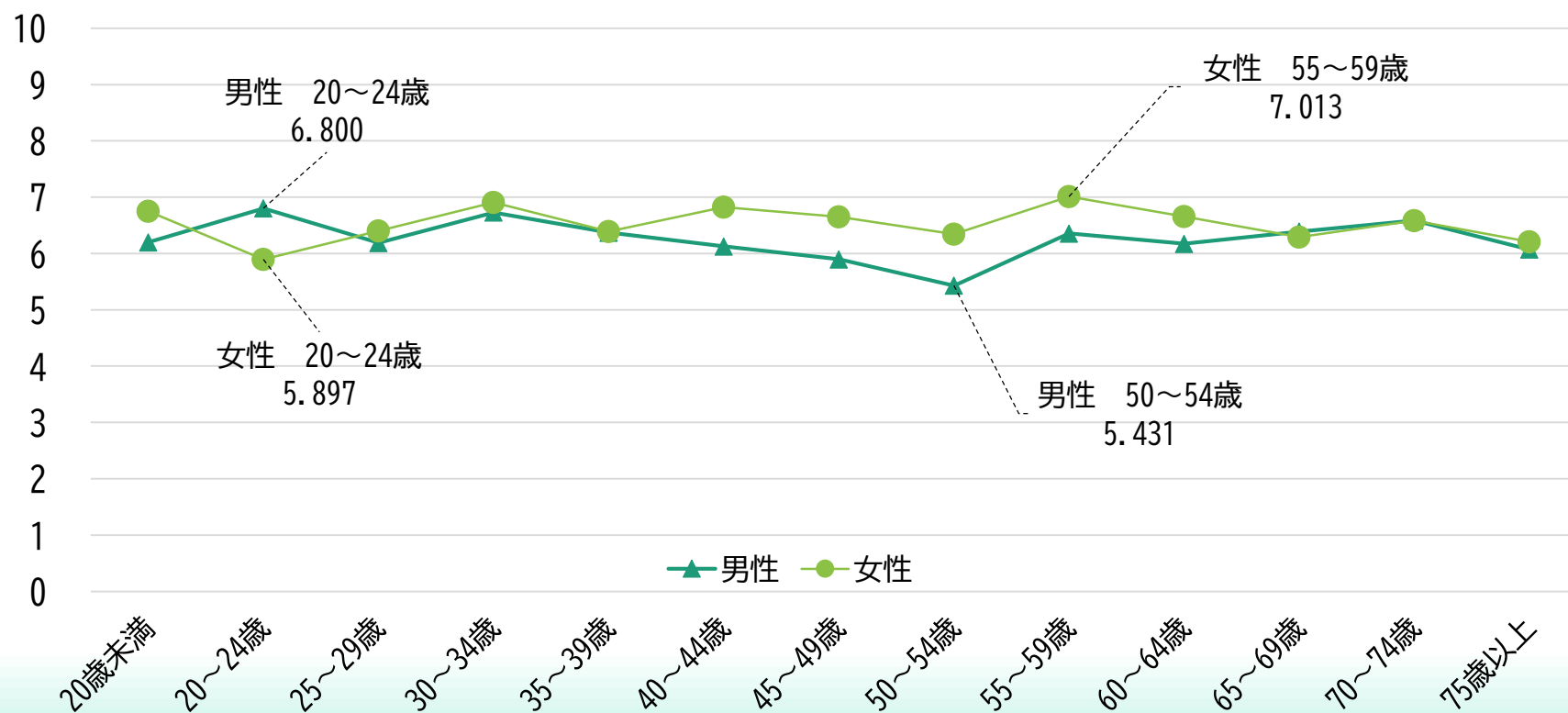
集計結果／考察

・性別と幸福度（Life Ladder）



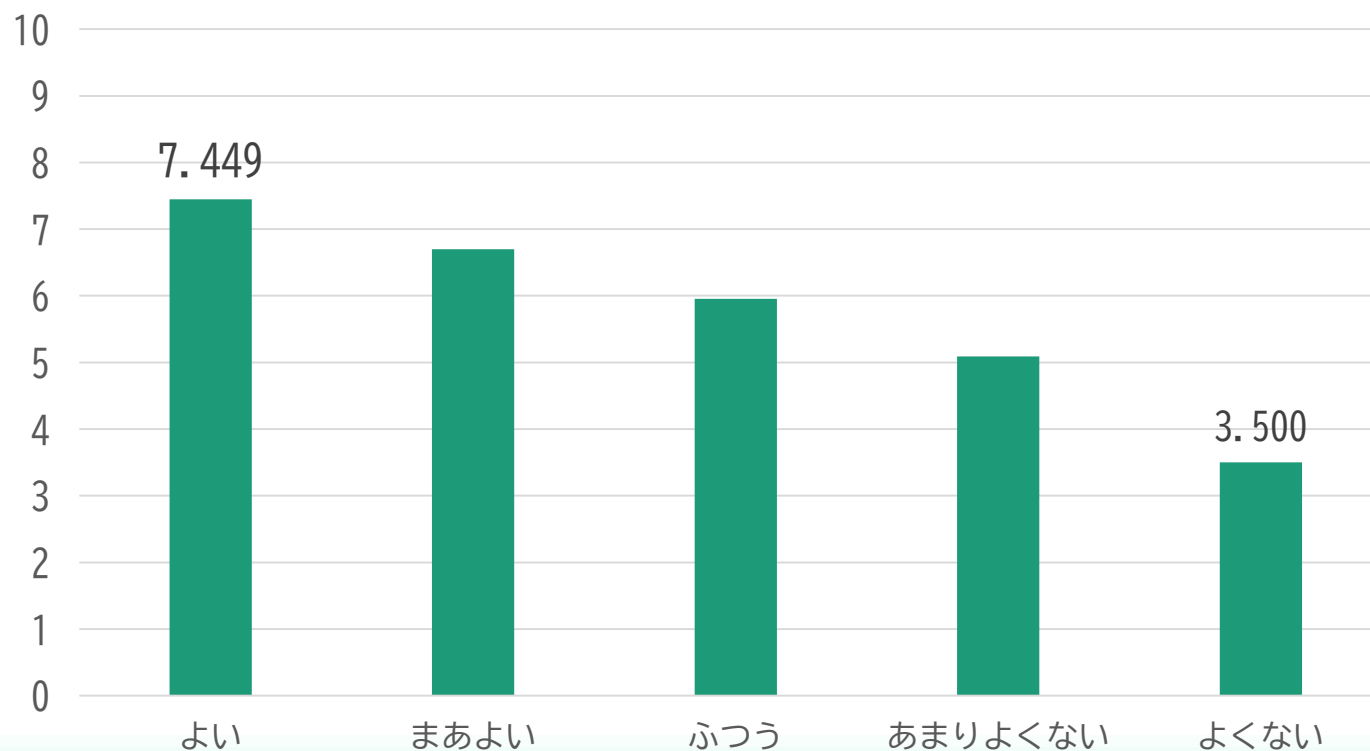
集計結果／考察

・年齢・性別と幸福度（Life Ladder）



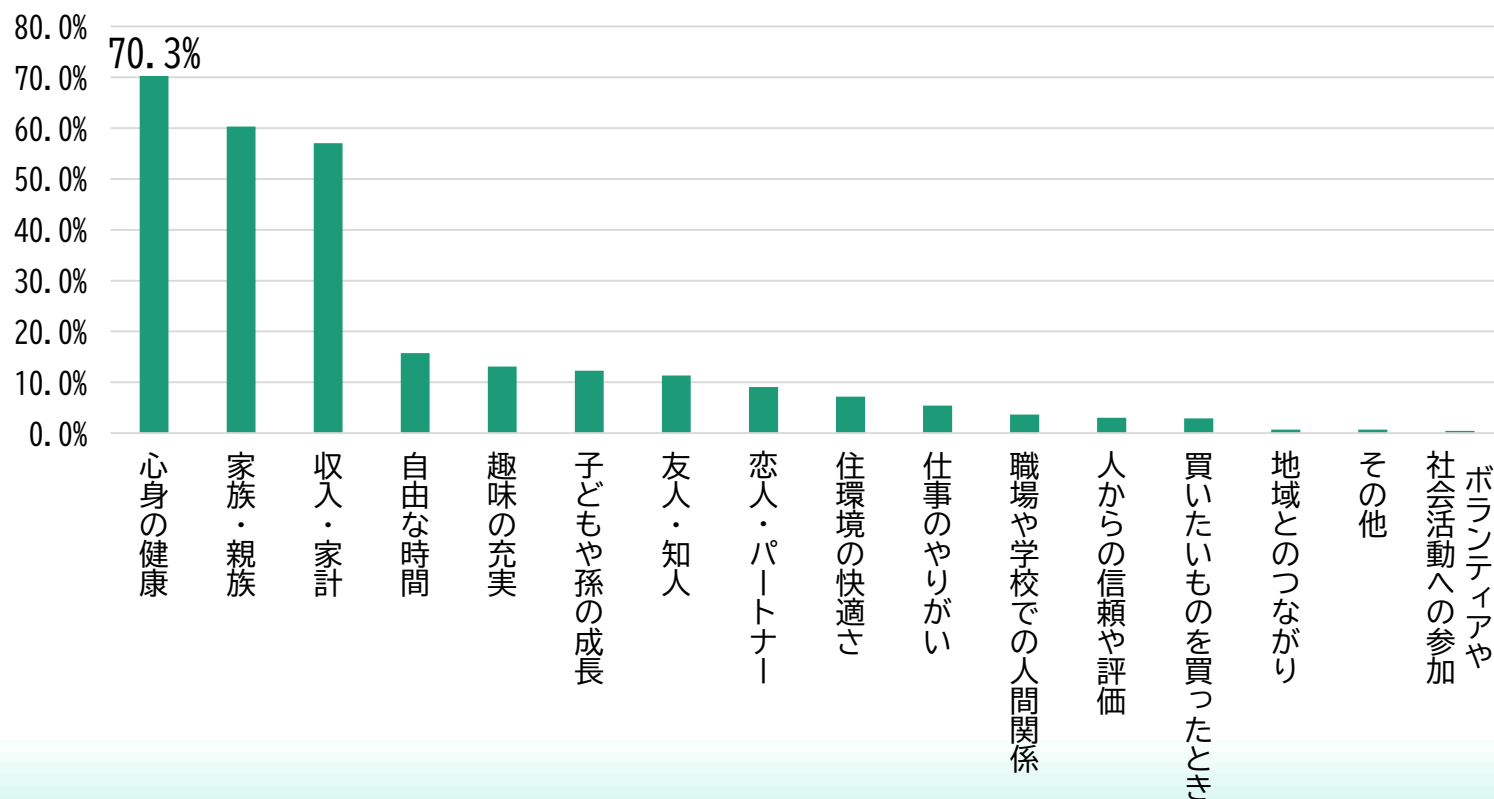
集計結果／考察

・健康状態と幸福度（Life Ladder）



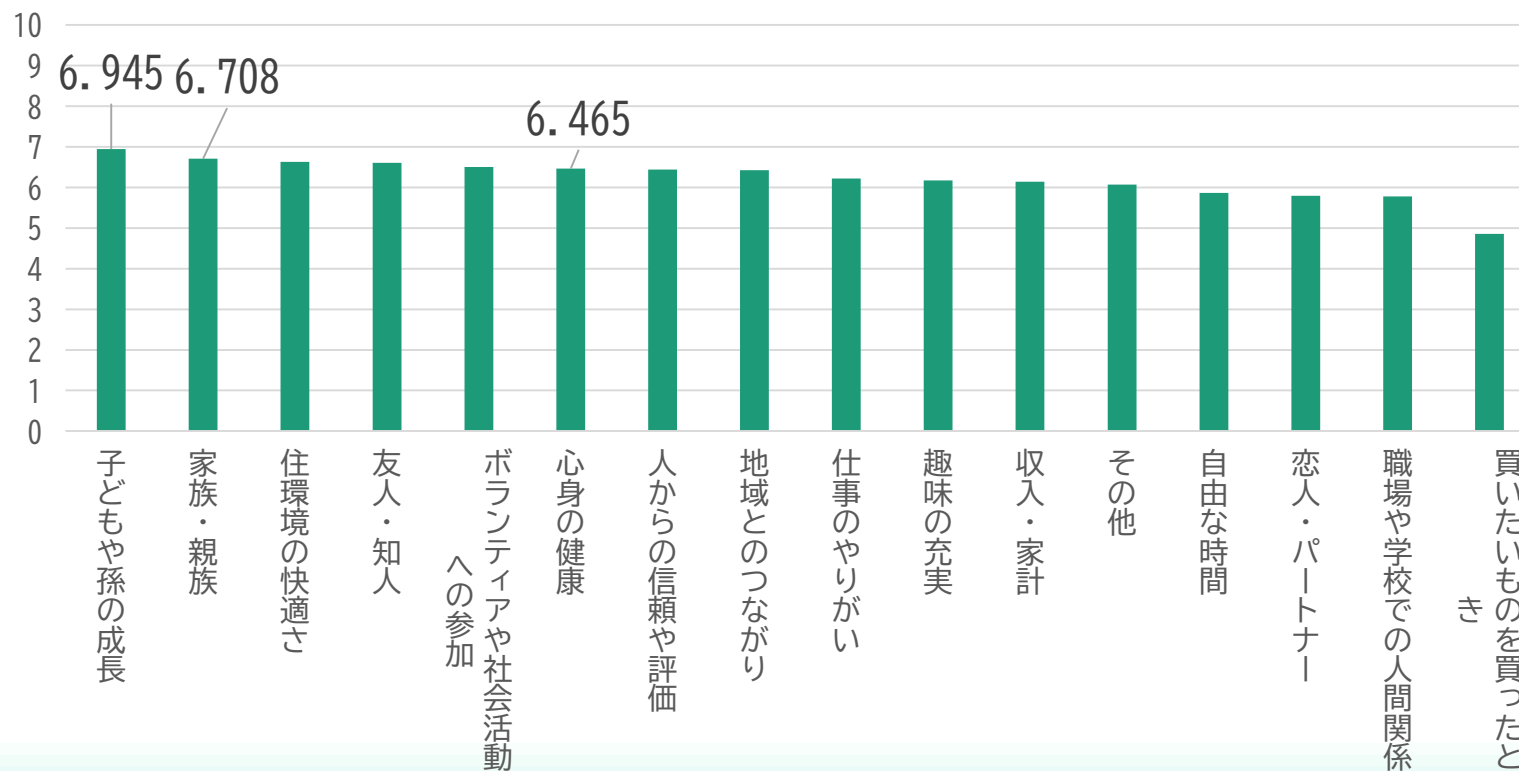
集計結果／考察

- ・ Q 5 あなたの幸せにとって重要なものはなんですか。



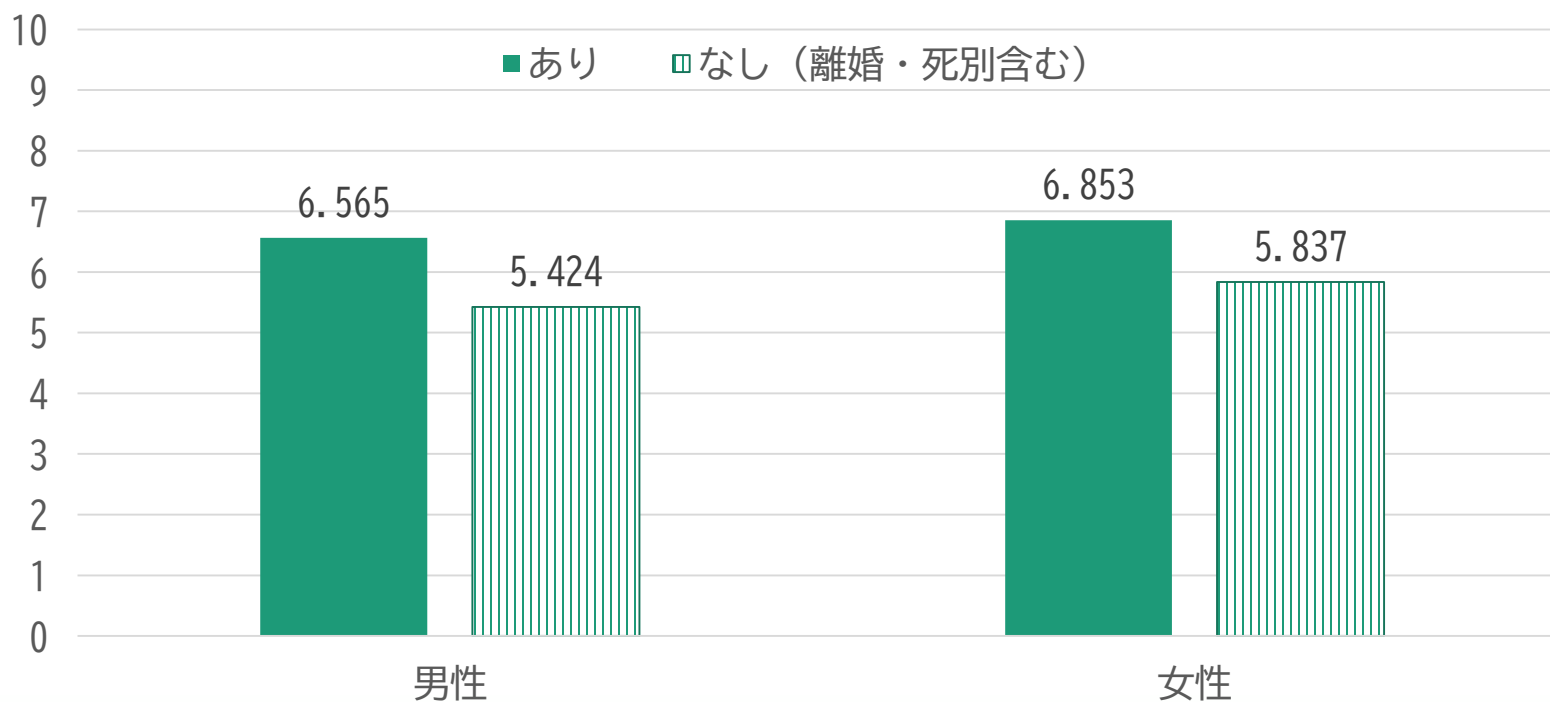
集計結果／考察

・ Q 5 幸せにとって重要なもの×幸福度（Life Ladder）



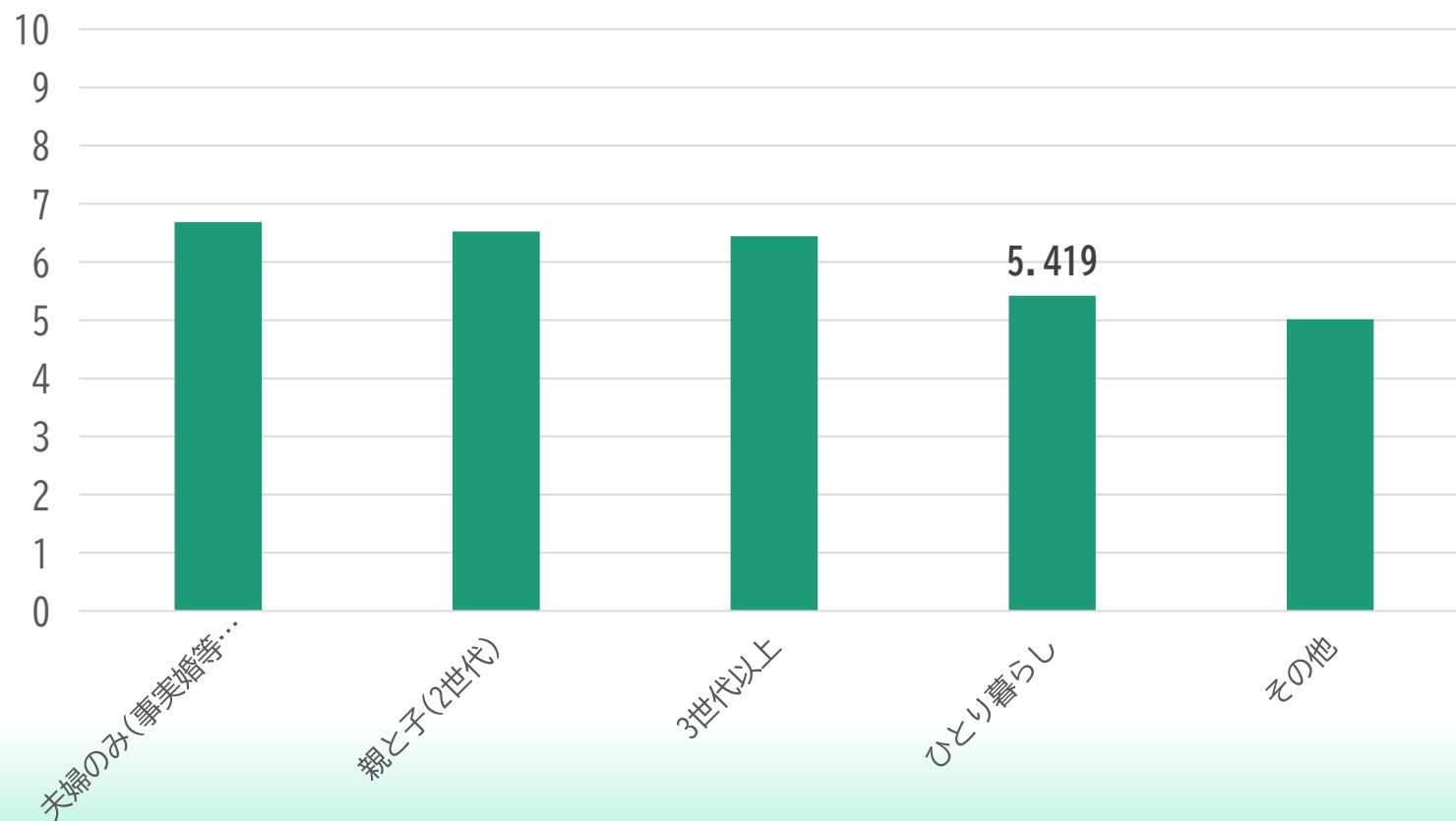
集計結果／考察

・配偶者の有無（男女別）と幸福度（Life Ladder）



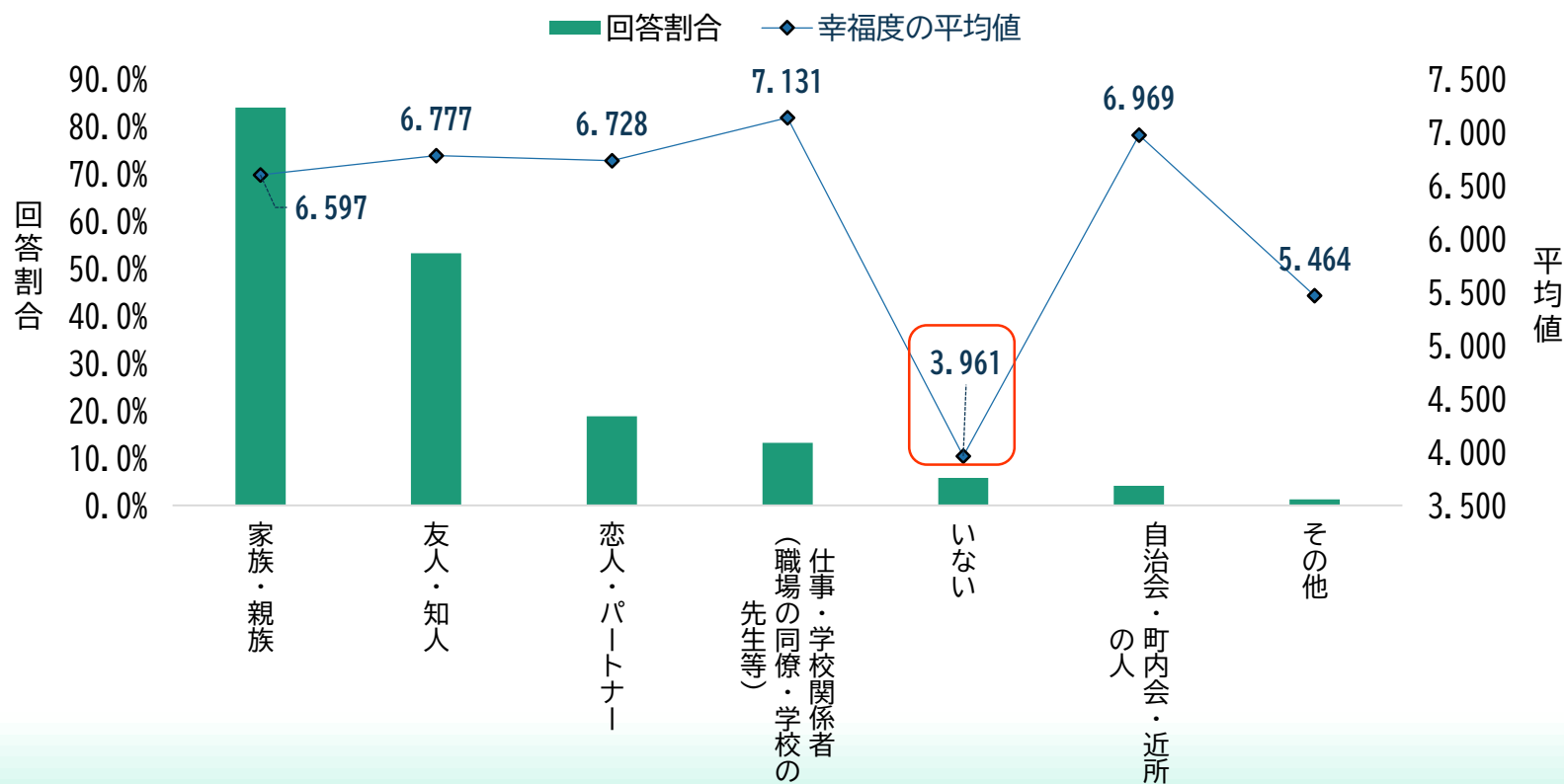
集計結果／考察

・同居の家族構成と幸福度（Life Ladder）



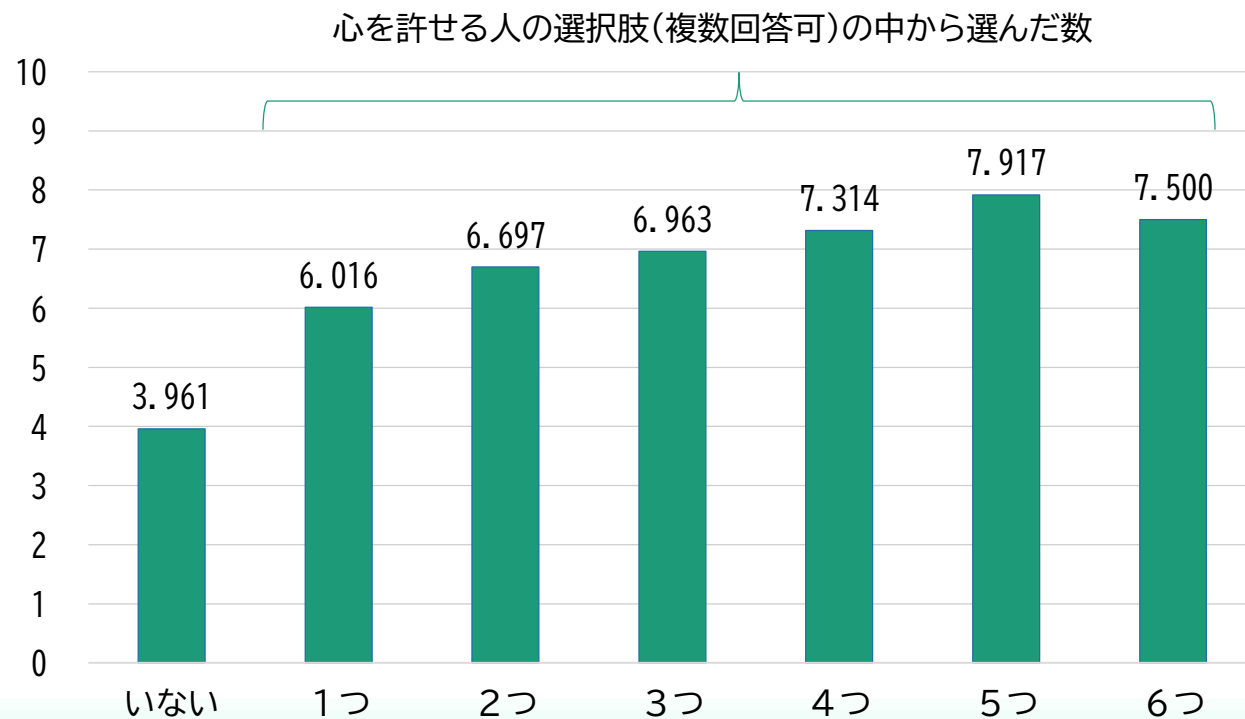
集計結果／考察

・ Q 6 心を許せる人の存在と幸福度（Life Ladder）



集計結果／考察

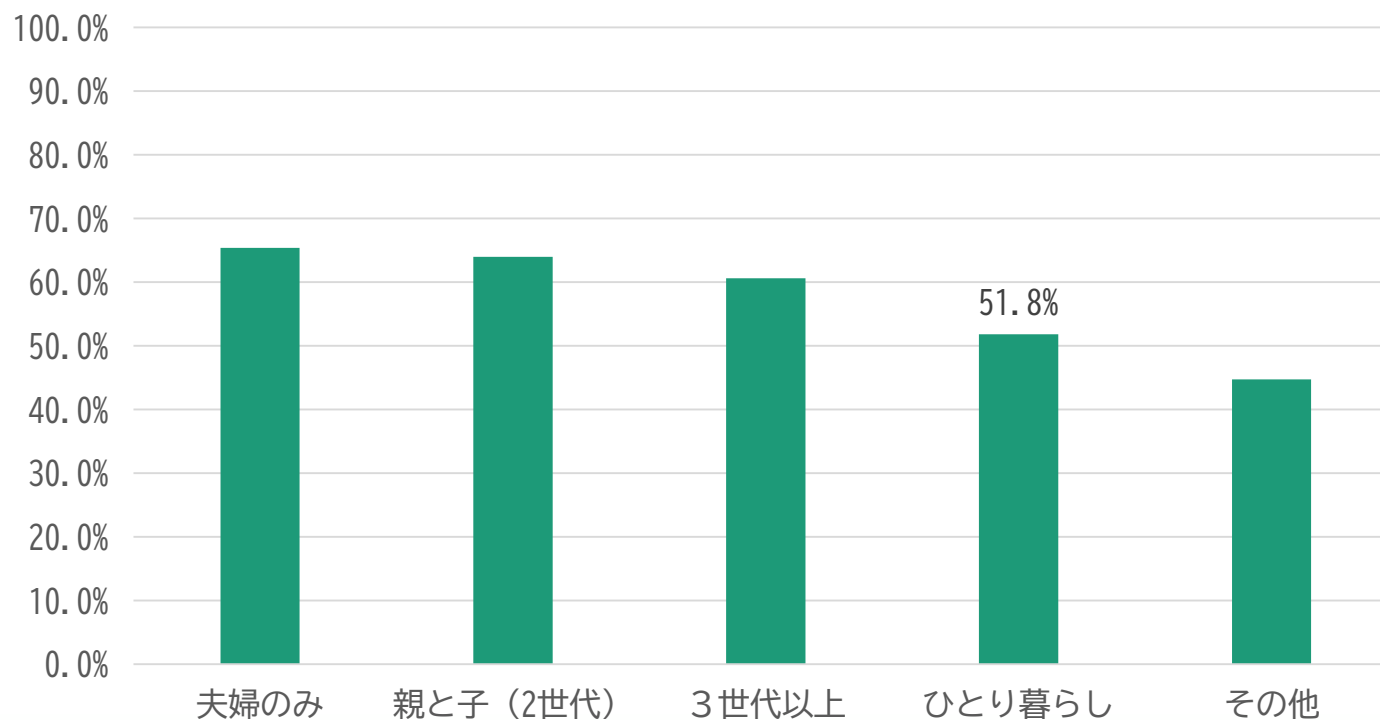
・ Q 6 心を許せる人の存在の多さと幸福度（Life Ladder）



※「6つ」はn=2のため、参考値として捉える必要がある。

集計結果／考察

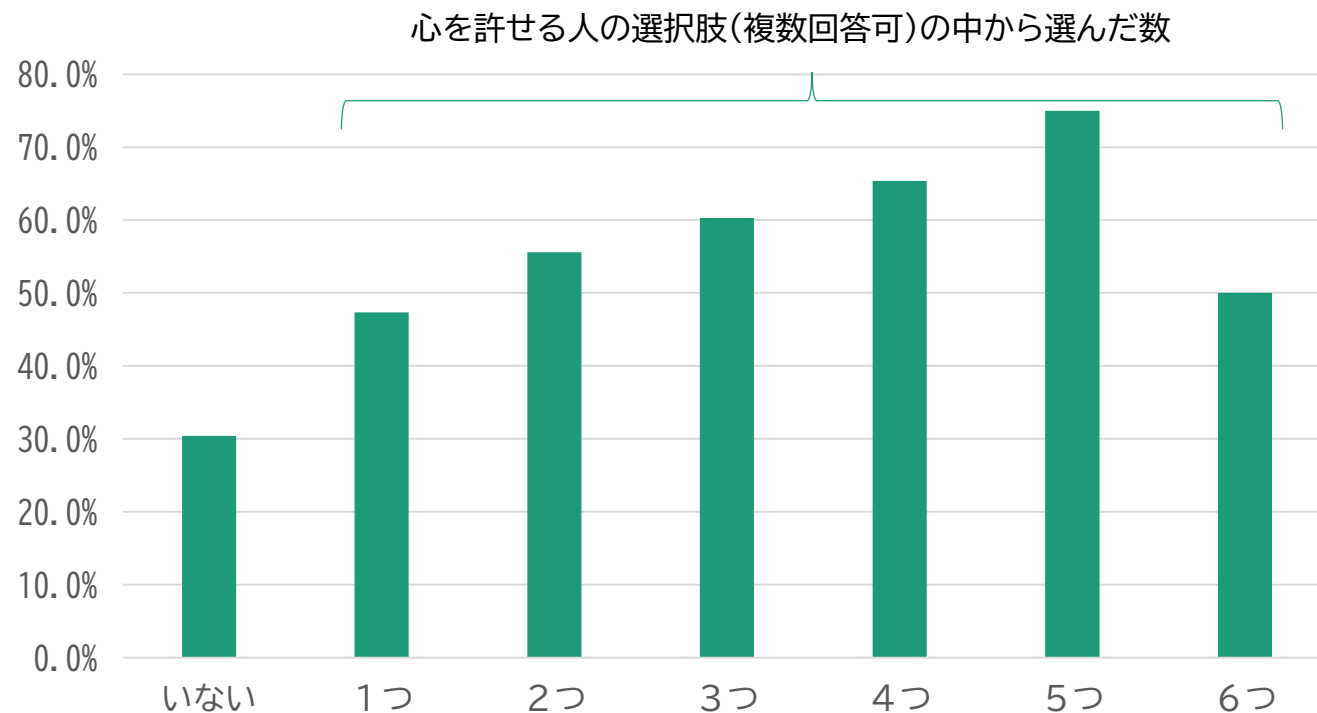
・家族構成と健康状態「よい・まあよい」の割合



※「ひとり暮らし」は高齢者(=健康状態が優れない)が多くなるため、その影響等を考慮し、このグラフ全体のサンプルは25～59歳としている。

集計結果／考察

・ Q 6 心を許せる人の多さと健康状態「よい・まあよい」 の割合



※「6つ」はn=2のため、参考値として捉える必要がある。

集計結果／考察

・ここまでで見えてきたこと

- 幸せ = 健康 < 幸せ = 人との関わり ではないか

・・・ 健康状態「よい」 に比べ 心を許せる人「多い」 のほうが幸福度は高い

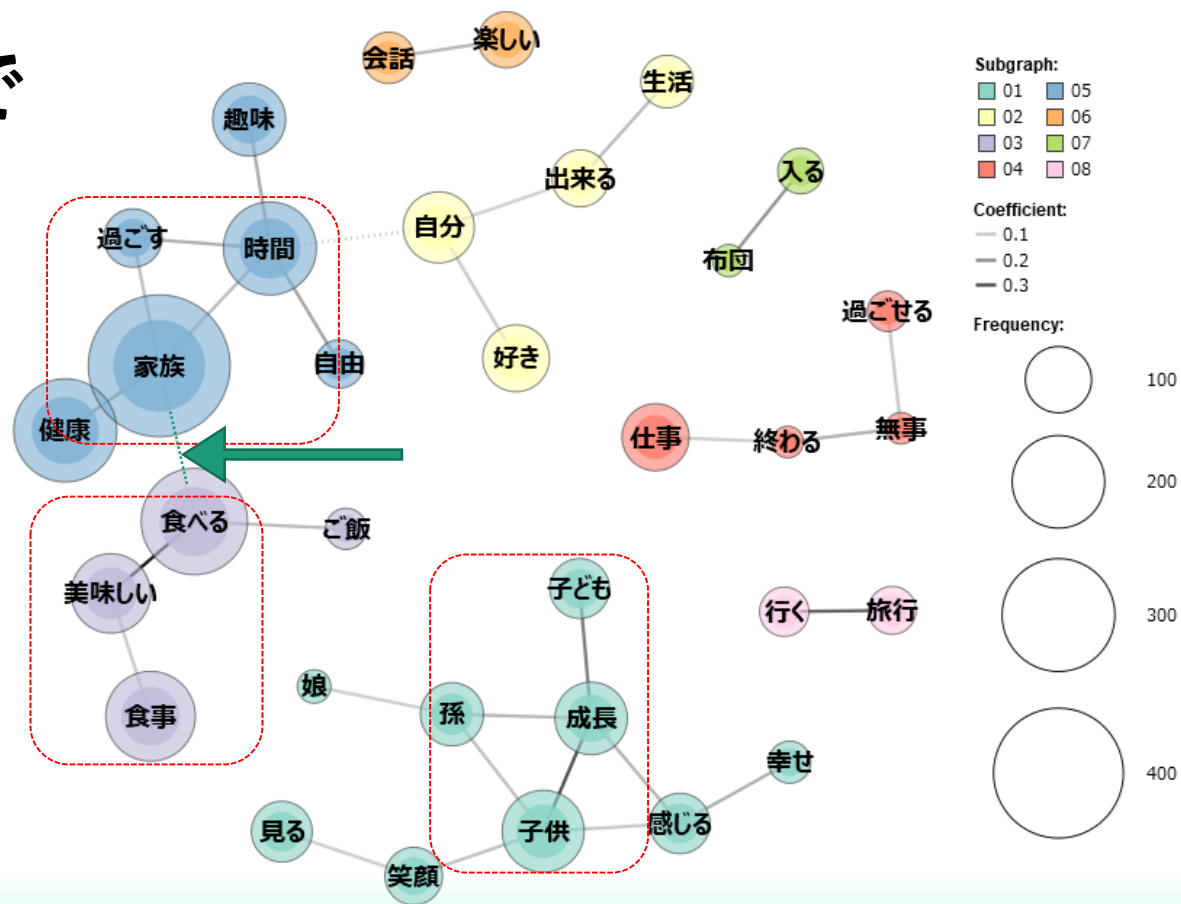
- 健康を生みだすにも、人との関わり が大切ではないか

・・・ ひとり暮らし 心を許せる人「いない」 は健康状態が良好でない

集計結果／考察

- Q 7 ふだんの暮らしで
幸せを感じるコト
(自由意見)

順位	抽出語	出現回数
1	家族	479
2	食べる	266
3	健康	250
4	時間	202
5	食事	188
6	子供	156
7	美味しい	146
8	趣味	123
9	成長	121
10	自分	116

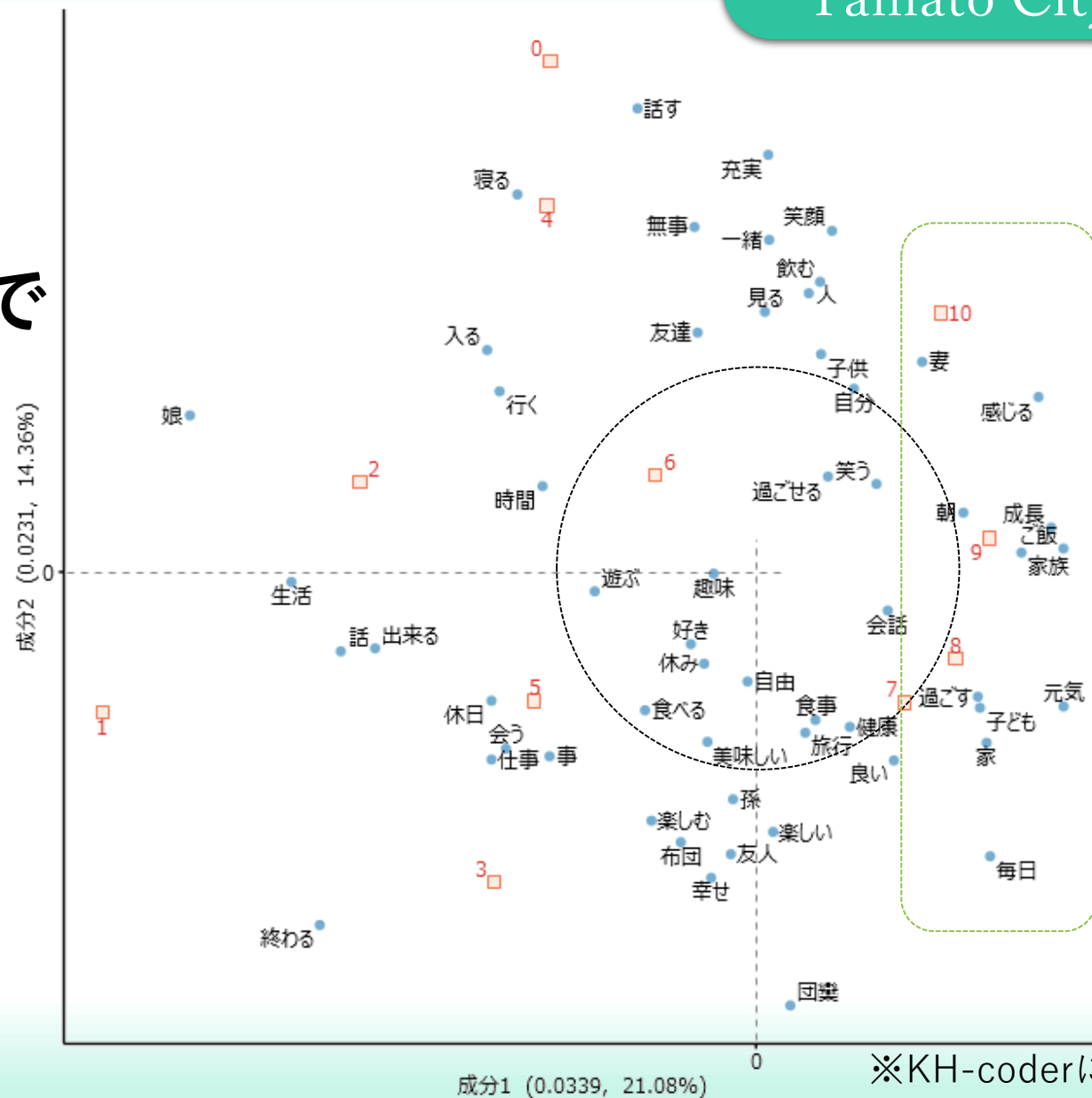


※KH-coderによる分析

集計結果／考察

- ・ Q 7 ふだんの暮らしで
幸せを感じるコト
(自由意見) と幸福度

順位	抽出語	出現回数
1	家族	479
2	食べる	266
3	健康	250
4	時間	202
5	食事	188
6	子供	156
7	美味しい	146
8	趣味	123
9	成長	121
10	自分	116



※KH-coderによる分析

総括

- 幸福度に影響を与え得るものとして、健康状態や人間関係の重要性が明らかになった。
- 一方、幸福の捉え方や程度は様々であり、また、人とのつながりが健康状態に作用する面もみられるなど、複雑なものであることが改めて浮き彫りになった。
- そのようなことから、価値観やライフスタイルの多様化が進むこれからの時代にあっては、市民の健康づくり・維持増進の取組も含め「人と人とのつながり」による力を生かしながら、より多くの人々が「幸せ」を実感できるような都市を目指していくことが重要である。

